

牧草と園藝



6

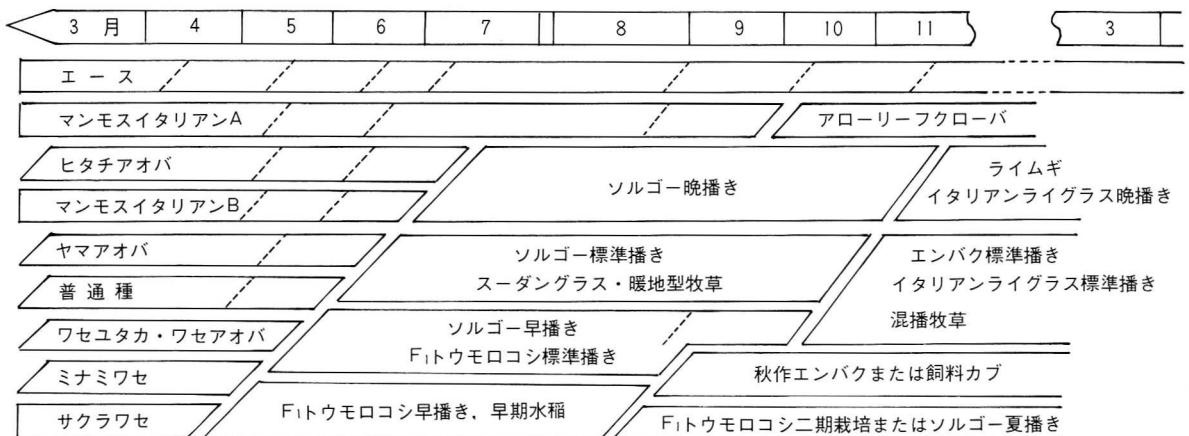
イタリアンライグラス
特集号

雪印種苗株式会社

イタリアンライグラス品種選定のポイント

- 1. 利 用 型**：年間の作付体系を設定し、後作の播種時期からイタリアンライグラスの利用期間を決め、利用型に応じた品種選定をする。
- 2. 利 用 法**：一般的には、青刈り利用には再生力が旺盛で長期利用のできる4倍体品種が適し、サイレージ・乾草利用には出穂が早く乾物率が高いため、予乾・乾燥スピードの早い2倍体の早生品種が適する。
- 3. 耐 病 性**＝積雪寒冷地で雪腐病の発生が予測される場合には、エースやテトリライトのような抵抗性品種を選定する。
- 4. 播 種 期**＝春播きの場合は、利用型の中で、春播性が高い品種を選定する。

作付体系、後作から選定するイタリアンライグラスの適品種



極短期利用に

サクラワセ

- ・出穂が最も早く、短期で高乾物収量。
- ・残根量少なく、F1トウモロコシ、早期水稲前作に最適。

極長期利用に

エース

- ・越夏性、耐暑性No.1。
- ・再生力旺盛で長期から周年栽培までOK。
- ・雪腐病、冠さび病に強く府県全域で多収。